



地域の人にかかわり、
「ブナ林から日本海まで」の自然と文化に学ぶ活動



〒949-1702 上越市有間川445
TEL 546-2012
FAX 546-2395
E-mail tanihama@jorne.or.jp
URL <http://www.tanihama.jorne.ed.jp>

小中一貫教育
目指す
子供像

くふるさを愛し、夢や志をもってたくましく将来を切り拓く子供を育むために

主体的に人や社会と関わり、
自他を高める子供

教育目標

かしこく

つよく

あたたかく

学	身につけさせたい力	具体的取組	家庭
進んで思いや考えを 伝え合う子供の育成	● 学習内容をしっかりと理解できる子を目指して、どの子にも分かりやすい授業づくりに努める。 ● 意見を交流し合うことができる子を目指して、かかわり合って学ぶ場を工夫する。	→ 学力検査の全校偏差値平均53以上になる。単元ワークテスト(国算)の期待値80%以上になる。 → 自分の思いや考えを伝え、相手の考えを聞き取る児童が80%以上になる。	◆ カテベンカードを活用し、学年に応じて各自で計画を立てて家庭学習に取り組む。
	● 全校共通の学習規律をもとに、定期的に振り返り、課題のあるものは改善を図っていく。 ● 授業でICTを活用し、UD化を図る。「焦点化された課題づくり」「まとめや振り返りのある授業づくり」に重点を置き、児童の主体的な学びを目指す。 ● 「読み」の力を育成するため、読書活動を推奨する。各学年で推薦する本リストを作り、学年相応の本を読む機会を計画的に設定する。	→ 体育の授業や休み時間に進んで体を動かしたと答える児童が90%以上になる。 → 家族できめたメディアに関するルールを守れた児童が80%以上になる。 → 避難訓練において、ワークシートに避難の仕方について正しく回答できた児童が80%以上になる。	◆ 家族でメディアに関するルールを決め、取り組む。
	● 元気に体を動かし体づくりにもつむことができる子を目指して年間を通した体づくりの機会を設定する。 ● 規則正しい生活習慣で過ごすことができる子を目指してメディアとより良くかかわれるようにする。 ● 自分の命を守ることができる子を目指して、防災教育に取り組む。	→ 相手の立場に立った言動ができた児童が80%以上になる。 → 主体的に活動できると評価する児童、教師が80%以上になる。 → 友達のよさが分かり、自分のよさに気付く児童が80%以上になる。	◆ 家族でメディアに関するルールを決め、取り組む。
体	身につけさせたい力	具体的取組	家庭
体力向上や安全な生活について 考え、よりよい生活習慣を身に 付けようとする子供の育成	● 相手の立場に立って、相手を思いやることができ、いじめをしない、ゆるさない。 ● 主体的に相手と関わることができ、自ら意思決定して活動できる。 ● 自分や友達のよさ、がんばりを見付けることができる。	→ 相手の立場に立った言動ができた児童が80%以上になる。 → 主体的に活動できると評価する児童、教師が80%以上になる。 → 友達のよさが分かり、自分のよさに気付く児童が80%以上になる。	◆ 家族でメディアに関するルールを決め、取り組む。
	● 進んで運動や体力の向上に取り組める学習カードを工夫し活用する。 ● 自分の生活を振り返り、健康課題に取り組む「健康週間」を年3回行い、メディア接触の改善を試みる機会を設定する。 ● 学期に1度、地域の実態に合わせた避難訓練を行い、災害時における行動や避難の仕方を身に付けられるようにする。 ● アンケートを実施し、自分でできているところとできていないところを自覚させる。	◆ 家族でメディアに関するルールを決め、取り組む。	
	● 相手の立場を理解するための人権教育や同和教育を実施する。いじめ防止、早期発見の取組や学校生活アンケートを実施する。 ● 特別活動等で児童が意思決定し、企画、運営をできる活動を計画的に設定する。 ● 行事と関連して異学年交流活動と「あったかメッセージ」交換を実施する。	◆ 進んで時と場に応じたあいさつができるようにする。	
心	身につけさせたい力	具体的取組	家庭
自他を大切に 共により高め合う子供の育成	● 相手の立場に立って、相手を思いやることができ、いじめをしない、ゆるさない。 ● 主体的に相手と関わることができ、自ら意思決定して活動できる。 ● 自分や友達のよさ、がんばりを見付けることができる。	→ 相手の立場に立った言動ができた児童が80%以上になる。 → 主体的に活動できると評価する児童、教師が80%以上になる。 → 友達のよさが分かり、自分のよさに気付く児童が80%以上になる。	◆ 家族でメディアに関するルールを決め、取り組む。
	● 進んで運動や体力の向上に取り組める学習カードを工夫し活用する。 ● 自分の生活を振り返り、健康課題に取り組む「健康週間」を年3回行い、メディア接触の改善を試みる機会を設定する。 ● 学期に1度、地域の実態に合わせた避難訓練を行い、災害時における行動や避難の仕方を身に付けられるようにする。 ● アンケートを実施し、自分でできているところとできていないところを自覚させる。	◆ 家族でメディアに関するルールを決め、取り組む。	
	● 相手の立場を理解するための人権教育や同和教育を実施する。いじめ防止、早期発見の取組や学校生活アンケートを実施する。 ● 特別活動等で児童が意思決定し、企画、運営をできる活動を計画的に設定する。 ● 行事と関連して異学年交流活動と「あったかメッセージ」交換を実施する。	◆ 進んで時と場に応じたあいさつができるようにする。	

1 学期	2 学期	3 学期
授業のユニバーサルデザイン化と授業改善 学年相応の読書の推進 考えを交流することを大切に学習の展開		
学力検査	合同文化祭での学習発表会	
地域の人に関わり、体験を通して学ぶ生活科・総合・学校行事の充実		
子どもの絵はがきづくり		
俳句づくり・俳句に詠んだ思いを伝える		
カテベンカードを活用し、計画を立て実践する。		
体力向上を目指し運動遊びの計画的な実施		
スポーツ フェスティバル	体カテスト	持久走大会 大縄大会
よりよい生活の仕方を知る保健指導の実施(メディアとの付き合い方、睡眠、歯みがき等)		
健康週間	小中合同学校 保健委員会	学校保健 委員会 健康週間 健康週間
「新潟県防災教育プログラム」を活用した防災学習を実施し、災害時に対応する力や防災意識の向上を図る。		
保・小・中合同避難訓練		
思いやりの心・いじめを許さない心を育てる人権教育、同和教育		
9年間を見通した 指導計画の 整備	学校生活 アンケート 思いやり 月間パート いじめ見逃しゼロスク ール集会	思いやり 月間パート 小中合同いじめ見 逃しゼロスク ル集会
児童自ら意思決定し、企画運営する活動		
各種特別活動	生活目標をもとにした取組	あいさつ運動
関わりを深める異学年交流活動とメッセージ交換		
スポーツ フェスティバル	小中合同文化祭	大縄大会
学級でのメッセージ交換・縦割り班清掃		

あったかくて 元気な学校
一人一人の個性を生かす学級づくりと特別支援教育

学校運営協議会 後援会/PTA/たにはま保育園/谷浜桑取青少年育成会議
/かみえちご山里ファン倶楽部/主任児童委員, 民生・児童委員

上越教育大学との連携
教育実習、学校実習の受入

地域との連携 地域行事への参加/桑取川魚の森づくり推進
協議会との連携/長浜駐在と連携した安全指導